

いくつもの苦難をのりこえて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から今年で10年。未曾有の被害をもたらした地震災害は、市民の心に深い爪痕を残しました。また、目に見えない原子力災害や度重なる水害、さらには、今もなお続く新型コロナウイルスとの戦いや2月13日に発生した震度6弱の余震など、本市は多くの困難に直面してきました。それでも前を向いて歩みを止めず、市民一丸となって協力し、未来を切り拓いてきた本市の10年を振り返ります。

震災10年への思い



田邊 竜斗 さん
(館取町在住)

当時、須賀川一小的の4年生だった私は20歳となり、社会人として働いています。あの日のことは、昨日のこのように思い出せるほどの恐怖と衝撃となって、今でも私の記憶に深く刻まれています。

震災直後は学校に通うことができず、プレハブの校舎に通う日々が続くなど、急変した環境に慣れるまで時間が掛かったことを覚えています。

大震災から10年が経とうとする今、もう一度、地震などの災害に対する考えを見つめ直し、自分にできることを考えていきたいです。



復興への歩み

平成23年

3/11 午後2時46分、太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震(東日本大震災)が発生。本市では震度6強を観測し、甚大な被害を受ける。市災害対策本部を市体育館に設置。藤沼湖が決壊し、大規模な水害が発生。余震による被害や関連死も含め、市内全域で11名が死亡、1名が行方不明となる

4/4 市体育館内に、震災の被害に対する相談窓口を開設
4/11 「すかがわさいがいエフエム」放送開始
5/9 分散した行政機能への交通手段として「循環バス」の運行を開始
5/25 岩瀬支所前のほ場で「ひまわり咲かせようプロジェクト」が始まる 1
8/29 市放射性物質除染方針策定
9/21 台風15号により釈迦堂川、阿武隈川とも過去最高の水位を記録し、家屋や事業所の浸水や土砂災害など、甚大な被害を受ける

平成24年

1/31 市除染計画(第1版)を策定
2/16 北海道長沼町と災害時における相互応援に関する協定を締結
3/28 藤沼湖決壊による被災者の会、江花川沿岸土地改良区、市が「藤沼湖決壊による被災地復興に関する覚書」に調印
5/28 石の花コミュニティセンターで市除染事業の説明会を開催
6/29 市体育館内に設置していた「総合相談窓口」を閉鎖。分散した行政機能を市役所仮設庁舎などに移す
7/20 いわせニュータウンで除染を開始
7/27 屋内こども遊び場「すかがわキッズパーク」が労働福祉会館内にオープン 3

平成25年

7/29 地域防災計画(概要版)を作成し、各世帯に配布
8/5 市内66事業所と福祉避難所設置のための協定を締結
10/27 東日本大震災の影響で中止していた「ながぬま一周駅伝競走大会」を3年ぶりに開催 4

平成26年

3/28 市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受ける
4/1 市同報系防災行政無線を開局。市内全域197カ所に設置
7/11 市中央体育館がオープン
8/23 大阪府豊中市と災害時における相互応援に関する協定を締結
12/25 いわせ多目的グラウンドがオープン 5

平成27年

1/23 神奈川県座間市との防災協定による防災訓練を実施
3/19 災害公営住宅「馬町団地」の入居開始
4/24 藤沼温泉「やまゆり荘」が営業再開
7/1 災害公営住宅「東町団地」の入居開始
8/1 埼玉県朝霞市と災害時における相互応援に関する協定を締結
8/25 第一小が新校舎で2学期をスタート 6
第一小児童クラブ館が完成
9/30 除染作業による除却土壌などの中間貯蔵施設への搬出が始まる

平成28年

3/30 災害公営住宅「馬町団地」「東町団地」「弘法団地」「山寺北団地」の全100戸の整備が完了 7
8/26 須賀川歯科医師会及び須賀川薬剤師会と災害時の医療救護活動等に関する協定を締結

平成29年

1/18 藤沼ダム湛水式を開催。試験湛水が始まる
3/30 新庁舎落成式 8
4/24 藤沼ダム農業用水の供給再開
6/25 藤沼湖自然公園で「奇跡のあじさい」植樹祭を開催 9
8/3 住宅地から除染土壌の搬出を開始
8/24 長沼地域の北町防災公園で震災復興記念モニュメント除幕式を開催

平成30年

4/1 大黒池防災公園の供用開始
11/12 榎こぶる須賀川と災害時における放送要請及び緊急放送等に関する協定を締結

平成31年

1/11 市民交流センター tetteオープン 10
ウルトラFM開局 11
3/18 第2期市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受ける
4/1 市役所防災広場の供用開始

令和元年

10/12 台風第19号により釈迦堂川、阿武隈川が氾濫。家屋や事業所の浸水や土砂災害が発生し、甚大な被害を受ける

令和2年

4/16 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国に緊急事態宣言が拡大(福島県は5月14日に解除)
5/31 台風第19号で決壊した阿武隈川堤防(浜尾遊水地西側)の本復旧工事が完了
7/1 洪水・土砂災害ハザードマップを改訂
9/1 地域外来(発熱外来)を緑の広場に開設
10/5 台風第19号で浸水被害を受けた第一保育所が再開
10/9 風流のはじめ館が開館
10/10 台風第19号で浸水被害を受けた須賀川アリーナの利用が再開
12/3 tette来館者が100万人を達成

令和3年

2/13 福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の余震が発生。本市では震度6弱を観測